

辻堂自治連だより

第3号 2024年 9月25日
発行 辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
事務局 辻堂市民センター 地域づくり担当
電話 0466-34-8661
住所 辻堂西海岸2-1-17

あいさつ

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
会長 関口 望

『いざというとき頼れるきずな』

現在の自治会・町内会への加入率は残念ながら減少を続けています。(令和5年度藤沢市:66%、辻堂地区:76.6%)
辻堂地区の加入率は、他の地区に比べると上位にあります。

藤沢市自治町内会連合会協議会では、このことを深刻に受け止め改善策を考えています。しかし、いろいろなアイデアがでますが、これといった名案はありません。ある委員が言いました。「加入率を上げるには」ということではなく、「加入率を下げない」という取組を真剣に考えるべきではないかと。何はともあれ減少に歯止めをかけなければなりません。

最近「南海トラフ地震」のことが大きなニュースにな

っています。過去には「阪神淡路大震災」、「熊本地震」、「東日本大震災」といった天災・地震・津波・火災がありました。これら災害を体験した方々のお話をテレビやビデオで見ました。その中では、「いざというとき」は行政の出動(市・消防・警察等)はアテにならず、頼りになったのは(実際助けていただいた)近くに住む方や顔見知りの方だったということでした。

やはり自治会・町内会に加入して日常的に暮らしに必要な情報を得たり、近所の方や顔見知りの方と言葉をかわすことが必要ではないかと思います。「加入してもメリットがない」、「回覧板を回すのが面倒」というのではなく、いざというときに備えるとともに、「人を知る」という大きなメリットがあることを忘れてはなりません。

ちなみに私の町内会では、加入率は平均以上と推察されますが、会費は月額125円でいろいろなことが楽しく体験でき、活動をしています。これからも人との「きずな」を大切に、助け合っていきたいと思います。

◆ 辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会 役員

辻堂地区には47の自治会・町内会があり、それら会長を構成員とする辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会(自治連)が組織されています。辻堂地区を4ブロックに分け、ブロックを代表する自治会・町内会の会長10人が役員となり、それぞれの自治会・町内会活動の活性化を目指して取り組んでいます。

- ① 会長 関口 望 (辻堂東海岸2丁目町内会)
- ② 副会長 赤塚 商蔵 (桜花園自治会)
- ③ 理事 吉田 茂 (北町町内会)
- ④ 理事 櫻井 博康 (辻堂南町自治会)
- ⑤ 理事 石井 英樹 (辻堂駅前町内会)
- ⑥ 理事 吉沢 繁延 (太平台明和会)
- ⑦ 理事 岡部 一雄 (辻堂東海岸1丁目町内会)
- ⑧ 理事 久保田 穂高 (辻堂団地自治会)
- ⑨ 監事 植木 正敏 (西町町内会)
- ⑩ 会計 柴田 喜代登 (藤沢ニューライ7自治会)



自治会・町内会活動を紹介します！

■ 太平台明和会による 「誰一人取り残さない自治会を目指して」

2018年(平成30年)4月から自主防災活動を円滑に実施するため、太平台明和会全世帯を10組に分け、各組に組長と委員の2名体制とし、町内会役員兼務の会長・副会長・民生委員・防災部長で新たに自主防災会を立ち上げました。

誰一人取り残さない地域として、町内の避難行動要支援者に対して、毎年民生委員と各組の組長・委員合同による防災担当としての紹介と要望等をお聞きするために面談を行ってまいりました。

昨年は、同時に個別避難計画策定の先行導入を実施しました。実施に当たり避難行動要支援者に自身の防災意識の向上目的で本人に作成していただきました。結果6割弱の回収ができました。面談の中で要支援者からは直接お伺いしお話をするだけで安心感を持たれているように感じました。



《NEWS》

さあ始めよう！

電子回覧板でスマート自治会

～説明会開催しました～

藤沢市では、自治会の加入率低下が課題となる中、役員の負担軽減につながる『電子回覧板』の説明会が8月28日、辻堂市民センターで行われ、14自治会・町内会が参加しました。



■ 辻堂団地自治会による 「自治会活動の負担軽減を目指して」

高齢化が大きな課題であり、パーパーレス化や人材不足の課題解決を目指しデジタル化を推進しています。

辻堂団地では現在、

- ① 自治会からのお知らせ
- ② 回覧板で回す市や辻堂地区の情報
- ③ URからの情報

のうち、①・②をデジタル化していきます。

今後について、

- ア 辻堂団地公式LINEを開設し、そこで情報発信を行っていく
- イ 公式HPを開設し、市の情報や自治会への申請などDL(ダウンロード(download))できるようにしていく
- ウ 公式Instagramで「団地とその地域の魅力」に「#(ハッシュマーク)」をつけて投稿し発信していく

また、紙媒体は自治会事務所に掲示していくことでアナログにも対応していく

辻堂団地は今年度末(第4四半期末)に完全デジタル化を目指します

※※令和6年度自治連の主な取組み※※

1. ブロック別意見交換会の開催
2. 個別避難計画の推進(共催)
(個別避難計画担当者説明会の開催)
3. デジタル化に向けた取組の推進
(電子回覧板説明会の開催)
4. 自治連だより第3号の発行
5. 視察研修会の実施
6. 津波避難体験・防災講演会・安否確認訓練
(共催)の実施

